

## GHC、「機能分化→連携→統合」の経営戦略セミナー開催 統合でV字回復の日本海総合病院、厚労省が目指す医療介護連携の行方

急性期病院を中心に経営支援サービスを行う株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン（GHC※1＝本社・東京都新宿区、渡辺幸子代表取締役社長）は5月23日、病院の大再編時代をテーマにした経営戦略セミナー「医療・介護連携とその先にある病院合併～厚労省の狙い、V字回復の日本海総合病院に学ぶ」を東京都内で開催します。厚生労働省の医療介護連携政策課の渡辺課長と、国内ではまれな病院統合の成功事例とされる日本海総合病院の栗谷理事長を演者に招き、病院大再編時代の生き残り策を探ります。

### ◆セミナー「医療・介護連携とその先にある病院合併」のポイント

- 【1】「機能分化※2→連携→統合」の流れを理解し、具体的なイメージを描ける！
- 【2】厚生労働省の初代「医療介護連携政策課長」が医療介護連携政策の方向性を解説！
- 【3】日本海総合病院の栗谷義樹病院長が「統合」の成功要因を詳しく語る！

### ◆米国のIDSに着目、国内の大再編時代を大胆予測

平均在院日数の短縮が進み急性期病床が過剰になる中、病院の連携・統合が避けられません。GHCは米国で進む「IDS（Integrated Delivery System＝病院統合）※3」に着目し、徹底分析した上で、国内の大再編時代を大胆予測。セミナーでは、代表の渡辺が「病院大再編時代を生き残る経営戦略（仮）」と題して、機能分化の先にある連携と統合について分かりやすく考察します。

連携については、厚生労働省保険局医療介護連携政策課の渡辺由美子課長が「今後の医療介護連携政策の方向性」と題して徹底解説。統合については、日本海総合病院の栗谷義樹理事長が「なぜ統合が必要だったのか」「統合においてどういった問題が発生し、どう乗り越えてきたのか」などの統合の経緯と成功要因を詳しく語ります。

### ※日本海総合病院の関連記事

「合併後に自分の居場所がなくてもよい」キーマンがそう思えるか否かが合併の鍵  
<http://www.medwatch.jp/?p=2192>

### ◆セミナー概要

#### 【セミナー名】

医療・介護連携とその先にある病院合併  
厚労省の狙い、V字回復の日本海総合病院に学ぶ（仮）

#### 【講師・演題・講演時間】

<第1部>

「機能分化→連携→病院統合」

13:00-14:15

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

代表取締役社長 渡辺幸子

「病院大再編時代を生き残る経営戦略（仮）」

14:15-15:30

厚生労働省保険局医療介護連携政策課

渡辺由美子課長

「今後の医療介護連携政策の方向性」

15:30-15:45 休憩

<第2部>

病院統合の事例研究

15:45-17:00

日本海総合病院

栗谷義樹病院長

「演題調整中」

※講演時間と演題は変更する可能性があります

(※1) 株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

医療専門職、ヘルスケア企業出身者、IT専門家らで構成される経営コンサルティングファーム。急速な高齢化で社会保障財政の破たんが懸念される中、「質の高い医療を最適なコストで」という理念を実践する具体的な手法として、米国流の医療マネジメント手法「ベンチマーク分析」を日本に初めて持ち込み、広めたパイオニアです。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.ghc-j.com/>

(※2) 機能分化

増え過ぎた急性期病床の最適化を目指し、2025年に向けて推進する社会保障制度改革の中核を成す国の政策。「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」という4つの病床機能のどれをカバーするか、医療機関が各都道府県に報告する「地域医療構想」により、病床機能ごとの連携、統廃合が進むと見られている。

(※3) IDS (Integrated Delivery System=病院統合)

米国で病院が再編・統廃合するために取られた手法。病院単独での経営からグループ経営に発展させることで、「規模の経済」を働かせて効率化を推進したり、「選択と集中」を進めることでグループ全体の医療の質を向上させたりできる。IT活用がカギを握っていることも大きな特徴の一つ。

---

お問い合わせ：株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

担当：広報室（島田）

TEL：03-6380-2401（代表） FAX：03-6380-2402 mail：info@ghc-j.com

〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア5F